

令和4年度教育功労者表彰被表彰者の概要

区分	氏名・性別・年齢	主な経歴	住 所	功 績 の 概 要
教育行政	くぼ りえこ 久保 理恵子 (女) (67歳)	越前町立萩野小学校長(H22.4～H25.3) 越前町立宮崎中学校長(H25.4～H27.3) 越前町教育委員会教育長(H29.3～R 3.3)	越前町	永年にわたり、学校教育において、その職務に精励し、教育の充実発展に大きく貢献した。 特に、分かりやすい数学の授業を実践し学力向上を図り、率先して研究事業を行うなど授業研究に熱心に取り組み、指導力を高めた。 平成22年度からは、校長として「地域の文化の拠点」としての学校の役割を果たし、地域から信頼される学校経営を行った。また、教育目標「自ら学び、共に高め合う生徒の育成」を掲げ、全職員の共通理解を図り、組織力を高め、目標達成に尽力した。 平成26年度は、福井県女性校長・教頭会副会長や鯖丹・南越地区中高連絡協議会会長を務めるなどリーダーシップを発揮し、会の充実・発展に貢献した。さらに、第54回東海北陸中学校長会研究協議会(三重大会)において福井県を代表して学力向上の取組について発表し、高い評価を得た。 平成29年には越前町教育長に就任し、平成30年度からは教育現場の働き方改革などを実践し、さらには小中学校再編に積極的に取り組むなど、越前町の教育行政の発展に大きく貢献した。
学校教育(小学校)	いがらし たかみ 五十嵐 隆美 (男) (61歳)	福井市下宇坂小学校長(H29.4～H31.3) 福井市和田小学校長(H31.4～R4.3)	福井市	永年にわたり、小学校教育および教育行政の職務に精励し、その充実発展に多大な成果を上げた。特に、体育科の授業においては、「楽しい授業」を追究し、指導方法の工夫改善に積極的に取り組み、福井市内の体育科、保健体育科教員のリーダーとして、体育科教育の推進向上に貢献した。 教育行政にあつては、福井市教育委員会事務局体育指導主事として、福井県内の学校体育・学校保健・学校安全・学校給食の充実・発展に尽力した。 校長にあつては、多様な経験をもとに校長として教職員を指導しながら学校経営を推進し大きな成果を上げ、地域住民からも高い評価を得た。令和元年度、令和2年度の2年間は、福井県学校体育研究会の研究部の副部長を務め、令和2年度全国学校体育研究福井大会の研究集録の作成に大きく寄与した。さらに、令和3年度は、福井市小学校長会の会長として、市内51校の校長をまとめ、教育環境の充実に向けて尽力した。
	きたうち のりお 北内 範男 (男) (60歳)	勝山市立平泉寺小学校長(H27.4～H29.3) 勝山市立北郷小学校長(H29.4～H30.3) 勝山市立勝山北部中学校長(H30.4～R2.3) 勝山市立村岡小学校長(R2.4～R4.3)	勝山市	永年にわたり、特別活動を中心とした教育実践に貢献した。加えて、道徳教育の推進にも努めた。また、生徒指導推進校の研究主任としても尽力した。 勝山市教育委員会指導主事として勤務した3年間は、文部科学省委嘱の「情報教育共有化事業」や「学校の評価システムを確率する調査研究事業」について、勝山市内全小中学校の実践を指導し、今日的課題に積極的に取り組んだ。 平成27年度からは、校長として、小学校にも中学校にも勤め、ふるさと教育や道徳教育を推進した。さらに、文部科学省より人権教育校に指定され、家庭・地域連携の人権教育を推進した。
	きたばた かずひろ 北畑 一浩 (男) (61歳)	南越前町立南条小学校長(H29.4～H31.3) 越前市国高小学校長(H31.4～R4.3)	越前市	永年にわたって、数学科教育を中心に熱心な教育実践を展開し数学科教育の充実・発展に貢献した。観点別評価の研究に取り組み、学習指導要領に示す目標に照らしてその実現状況について観点ごとに評価し、生徒の学習状況を分析的に捉えるための評価規準や評価方法について研究を行った。その成果は書籍となり日本全国の教員に範を示すこととなった。 平成23年度からは、南越地方教育委員会連絡協議会指導主事として、池田町、南越前町の小中学校や幼稚園に対して、教育課程、学習指導や生徒指導等の指導助言を行った。校長、教頭や園長との協議や各分掌の先生方との研究協議において、県や町の教育委員会の考え方にに基づき指導・助言を行い、教員の資質向上等に努めた。 令和元年度からの3年間は市幼稚園長会長として、令和3年度は市小中学校長会副会長として、市内幼稚園・小中学校の教育振興発展のため、園・学校経営の研究・指導に尽力した。
	くぼた みつよ 窪田 光世 (女) (60歳)	鯖江市豊小学校長(H29.4～H31.3) 鯖江市借陰小学校長(H31.4～R4.3)	鯖江市	永年にわたり、確固たる教育信念を持ち誠実な教育実践を続け、学校教育の充実・発展に大きな功績を残した。特に、国語教育において、教材開発や指導方法の改善に積極的に取り組み、国語科教育の向上に貢献した。 平成31年度から、県特別支援教育連盟会長の要職にあり、県内の特別支援教育の充実および発展に努めるとともに、教育研究の推進と向上に取組み、県内特別支援教育の推進役として優れた手腕を発揮した。
	こじま けいいち 小島 啓市 (男) (61歳)	福井市岡保小学校長(H31.4～R4.3)	福井市	永年にわたり、研究と修養に努め、子どもの心に寄り添った温かい指導を通して健全な心身とたくましく生きる力の育成に力を注いだ。特に理科の指導及び実践研究に励み、県下の中学校理科教育の充実のために尽力した。 また、学校現場だけでなく、福井県立恐竜博物館に8年間在籍し、教育普及および利用促進に力を注いだ。さらに、福井大学教職大学院に勤務し、現職教員の資質向上のために尽力した。 管理職にあつては、子ども達の夢と希望を育む学校、地域に信頼される学校づくりに取り組んだ。常に挑戦する心を持ち、自ら研鑽に努め、多様な課題についての的確な判断力を発揮した。温かい人間関係を基盤とし、教職員の個性や能力を生かした学校運営は、安心安全な学校環境をつくり、地域や保護者の信頼を得た。

令和4年度教育功労者表彰被表彰者の概要

区分	氏名・性別・年齢	主な経歴	住 所	功 績 の 概 要
学校教育（小学校）	さわだ よしひさ 澤田 佳久 (男) (61歳)	福井市六条小学校校長(H29.4～H30.12) 福井市明新小学校校長(H31.1～R4.3)	坂井市	永年にわたり、「子供たちと一緒に楽しみながら指導する」を信条とし、誠実な教育実践を続け、学校教育の充実・発展に大きな功績を残した。特に、社会科教育において、教材開発や指導方法の改善に積極的に取り組み、社会科教育の向上に貢献した。 教育行政にあつては、県教育庁義務教育課主任として生徒指導・同和教育、特別活動の充実・発展に尽力した。 平成29年度からは、校長として教職員を指導しながら、「子供たちが毎日楽しく笑顔で通うことのできる魅力ある学校づくり」に重点においた学校経営を推進し、大きな成果を上げ、地域住民からも高い評価を得た。令和3年度は市校長会副会長として福井市の教育力向上のために尽力した。
	しおたに のぶえ 塩谷 伸恵 (女) (61歳)	坂井市立加戸小学校校長(H30.4～R2.3) 坂井市立東十郷小学校校長(R2.4～R4.3)	坂井市	永年にわたり国語教育ならびに道徳教育を中心とした教育実践に励み、学校教育の充実・発展に大きな功績を残した。特に、国語の時間を楽しみに思う児童・生徒の育成や言葉で伝え合う力を育てる国語教育に尽力した。また、全ての教育活動を通して道徳教育が進められるような道徳教育を目指し取り組んだ。 平成30年度からは、校長として「よく学び よく働き よく遊ぶ」子の育成を目指し、家庭や地域と連携しながら教育活動を推進した。きめ細かで温かみのある指導力で児童生徒を育成するとともに、教職員の個性を引き出すことで資質向上を図った。また、地区小教研道徳部長を務め、地区全体の道徳教育推進にリーダーシップを発揮した。 令和3年度は、地区小教研会長を務め、地域全体の教育振興に寄与した。また、県小教研副会長として、県と地区とのつなぎ役も務めるとともに、県の教育の充実発展に力を尽くした。さらに、令和4年度の全国小学校道徳教育研究大会福井大会に向け、実行委員会事務局長および副実行委員長として、大会運営の準備や研究推進に関わった。
	しだ せいいち 志田 聖一 (男) (60歳)	あわら市金津小学校校長(H30.4～R4.3)	あわら市	永年にわたり小学校教育に情熱を注ぎ、確固たる教育信念のもと誠実な教育実践を続け、学校教育の発展に寄与した。この間、授業研究に励み研鑽に努めるとともに職務に精励した。特に波松小学校では、複式学級での授業づくりにおいて福井県授業名人となるなど大きな功績を残した。 また、平成10年度から3年間、金津町教育委員会社会教育主事としてスポーツ少年団の育成に尽力した。平成25年度からの5年間はあわら市教育委員会教育審議監として指導力を発揮し、あわら市教育行政の発展にも貢献した。 平成30年度から4年間は金津小学校校長として、教職員を指導しながら児童たちの個性を伸ばす学校運営を行い、学力や児童の人間力向上に大きな成果をあげている。この間、坂井地区教育振興研究会会長、坂井地区校長会会長等の要職を歴任し、あわら市のみならず坂井地区学校教育の推進役として優れた手腕を発揮した。
	しみず まこと 清水 誠 (男) (61歳)	越前市武生第五中学校校長(H28.4～H29.12) 池田町立池田中学校校長(H30.1～R2.3) 越前市武生南小学校校長(R2.4～R4.3)	越前市	永年にわたり、社会科教育を中心とした教育実践に励み、授業にいきる教材研究に努めた。平成5年度から2年間は、福井大学大学院教育学研究科に在学して社会科テストに関する研究を進め、修士論文を提出するとともに、「多重対問形式を利用した中学校社会科問題場面テストの開発」を福井大学教育実践センターに投稿し、「福井大学教育実践研究第20号」に掲載された。 平成15年度からの6年間は、越前市（武生市）の指導主事として、市内の小中学校および幼稚園の教育課程・学習指導に関わる指導・助言を行い、市全体の教育水準の維持・向上に努めた。平成25年度からは学校教育指導室長として、越前市の学校教育水準の維持・向上のために教育活動全般の充実にも努めた。 平成30年度には、福井県中学校長会理事を務めるとともに、平成30年度南越ブロック中学校教育研究会会長として城内中学校の教育実践研究の推進に寄与した。 令和3年度には越前市小学校長会会長を務め、市内各小学校の円滑な学校運営に寄与した。
	すがの ひろし 菅野 博 (男) (61歳)	福井市越通小学校校長(H29.4～H31.3) 福井市清明小学校校長(H31.4～現在)	越前町	永年にわたり、児童・生徒に寄り添い、共に成長していくことを心情とし、誠実な教育実践を続け、学校教育の充実・発展に大きな功績を残した。特に、体育教育における指導方法の改善や、教材開発に積極的に取り組んだ。特別活動においても、これまでの既成概念にとらわれることなく、様々な集団活動に自主的・実践的に取り組み、児童・生徒の主体的な態度を育成した。 行政においては、生涯学習に尽力し、県民一般の方々に様々な講座を企画・提供し、高い評価を得た。青少年教育においても、時代を反映したプログラムを企画・立案し、参加者と共に活動するなどその指導力をいかんなく発揮した。 平成29年からは、校長として5年間、生徒指導を学校経営の柱に据え、あいさつと継続する大切さを具現化して実践し、生活習慣や学習習慣の確立に努めた。また、問題を抱える児童や困り感を持つ教職員に寄り添い、より良い生き方を共に探りながら成長を支えた。
	たかざわ てるみ 高澤 輝美 (女) (61歳)	福井市清水東小学校校長(H30.4～R4.3)	福井市	永年にわたり、強い教育的信念を持ち、児童や教職員に常に寄り添い、真摯に対応することを心がけ、互いに認め合う思いやりある学級、協働の精神で助け合える職場作りに努めた。特に、内地留学で学んだカウンセリングの知識を活用して、「児童や保護者に寄り添い続ける」ことを信条に不登校や特別支援の課題に積極的に取り組んだ。 教育行政にあつては、県教育研究所教育相談課で研修し、青少年の心の問題を扱うハンドブックの作成や、不登校児童生徒の理解と支援についての研究を行った。 校長にあつては、地域に根ざした教育を目指して、学校だけでなくホームページはもとより、緊急メールシステムを利用しての動画配信等を心がけ、公民館と双方向の情報交換や連携を心がけながら、ふるさとを愛する児童の育成に努めた。また、令和3年度は、県女性校長・教頭会会長として、県下の教育向上のために尽力した。

高

令和4年度教育功労者表彰被表彰者の概要

区分	氏名・性別・年齢	主な経歴	住 所	功 績 の 概 要
学校教育（小学校）	たにかわ ゆうじ 谷川 雄司 (男) (60歳)	越前市坂口小学校長(H29.4～H31.3) 越前市北日野小学校長(H31.4～R4.3)	越前市	永年にわたって、確固たる教育理念に基づき、卓越した指導力と情熱を持って学校教育、教育相談の充実・発展に努め、着実に成果をあげた。英語教育の充実・発展に尽力し、補助教材を自作したり、補充学習の行い方を工夫したりして学力の充実を図った。 平成23年度からは、福井県教育研究所研究員として教育相談や教職員向け研修講座を担当し、青少年の健全育成や教職員の学級経営改善に尽力した。 令和2年度からは、越前市小学校教育研究会会長として教科・領域の研究の機会を設定すると共に、コロナ禍における研究会の在り方を工夫した。 令和3年度には越前市教育研究会会長として学校教育活動の充実を図った。人数を制限した上で教育講演会を企画し、講師との交渉や講演会の運営に携わり講演会を開催したことで、教員の研修の場を確保し、指導力向上に貢献した。
	たにぐち まさのり 谷口 政則 (男) (61歳)	福井市森田小学校長(H30.4～R4.3)	福井市	永年にわたり、「子どもの笑顔のために、学び続ける教員」を信条とし、人間関係を大切に前向きで誠実な教育実践を続け、学校教育の充実・発展に大きな功績を残した。特に、体育科教育において、教材開発や指導方法の改善に積極的に取り組み、ニュースポーツを単元に取り上げるなど児童の興味関心を高め、意欲的に取り組む体育科教育の推進に貢献した。 教育行政の分野においては、福井市教育委員会スポーツ課に主事として3年間勤務し、福井市のスポーツ少年団、体育指導委員協議会、体育協会等の社会体育の啓蒙と発展に尽力した。 平成30年度からは、県下一の大規模校の校長として教職員を指導しながら、「だれもが通いたくなる学校・信頼される学校」づくりを重点とした学校経営を推進し、大きな成果を上げ、地域住民からも高い評価を得た。令和2年度には、福井市学校保健会の副会長として学校保健の研究とその普及発展を図り、その施策に寄与して児童生徒の健康福祉を増進することに尽力した。
	つかはら じろう 塚原 仁朗 (男) (60歳)	若狭町立気山小学校長(H30.4～R2.3) 美浜町立美浜中央小学校長(R2.4～R4.3)	美浜町	永年にわたり、小学校教育一筋に教育実践に励み、その充実発展に尽力した。特に、保健体育、社会科教育、道徳教育において、教材開発や指導方法の改善に積極的に取り組み、その成果を東海北陸地区体育実技・道徳教育指導者講習会等で発表した。 平成30年度からは、小学校長として優れた指導力をもって、自らの理想とする学校づくりに努め、地域に信頼される特色のある学校をめざし、令和元年に若狭町立気山小学校をPTA活動文部科学大臣賞受賞に導いた。また、教職員の研究実践を推進し、ふるさと教育、学力向上を柱に、地域に結びついた教育課程の展開に努めた。 令和2年度には福井県小学校長会副会長、令和3年度からは美浜町校長会長などの要職を歴任し、小学校教育の充実・発展のために寄与した。
	にしむら みきほ 西村 美貴穂 (男) (61歳)	福井市中藤小学校長(H30.4～R4.3)	福井市	永年にわたり、小学校教育および教育行政において職務に精励した。特に、社会科では教材開発や指導方法の改善に積極的に取り組んだ。また、4年生社会科の副読本「きょう土の生活」の編集に長年携わり、より使いやすい副読本の提供に努力した。さらに、福井県社会科研究協議会の研究主任を務め、県内の社会科教育の充実に貢献した。 教育行政にあつては、福井県教育研究所において学力調査や教員研修の担当者として能力を発揮し、児童の学力向上や教員の指導力向上に尽力した。 校長にあつては、豊かな見識と適切な判断力をもって学校経営にあたりるとともに、令和4年度に開催が決まっている全国小学校道徳教育研究大会福井大会に向けて、授業公開校として道徳教育の推進に尽力した。また、令和3年度は福井県小学校教育研究会会長として、本県の小学校教育の発展に寄与した。
穂	ふくもと ゆうみ 福本 ゆうみ (女) (60歳)	福井大学附属義務教育学校副校長(H29.4～H31.3) 福井市豊小学校長(H31.4～R4.3)	福井市	永年にわたり、国語科教育や総合的な学習の時間の指導を中心とした実践の充実に意欲をもって取り組み、精力的に研究活動や教員への指導に携わった。優れた実践力と指導力によって、本県の教育界に与えた功績は大きい。 教育行政にあつては、福井県教育庁義務教育課指導主事として勤務し、国語科の他、生活科、総合的な学習の時間、道徳、幼児教育、研修担当として尽力した。特に、「白川文字学」の推進を図るため、副読本を作成した。また、「漢字教育士資格認定講座」を開講する事業に力を尽くし、白川文字学に基づく体系的な漢字教育の普及と教育者の育成に貢献した。 管理職にあつては、附属義務学校では「主題・探究・表現型」のアクティブ・ラーニングの全教科・領域での実施や、完全教科担任制の導入、義務教育9年の長期ビジョンに基づいた継続指導に尽力した。豊小学校では、学校評価アンケートや自己評価を工夫し、こまめなPDCAサイクルを行いながらよりよい学校の経営を目指した。
	おおくぼ ふみよし 大久保 文義 (男) (60歳)	鯖江市鯖江中学校長(H31.4～R4.3)	越前町	永年にわたり、体育科教育を中心に熱心な教育実践を展開してきた。教材開発や主体的に学習できる学習過程の工夫と研究に取り組み、体育科教育の充実発展に貢献した。 市派遣スポーツ主事や市体育指導主事、県スポーツ保健課主任、県国体推進局参事を歴任するなど教育行政の分野でも貢献した。特に、福井国体では、推進役として優れた手腕を発揮し、国体を成功に導いた。 平成31年度からは、校長として、豊かな経験と優れた指導力に基づいた学校経営を行い、リーダーシップを発揮した。
学校教育（中学校）				

令和4年度教育功労者表彰被表彰者の概要

区分	氏名・性別・年齢	主な経歴	住 所	功 績 の 概 要
学校教育（中学校）	おおた ひでかず 太田 秀一 (男) (61歳)	越前町立糸生小学校長(H29.4～H31.3) 越前町立宮崎中学校長(H31.4～R4.3)	福井市	永年にわたり、誠実で温かみのある指導で職務に精励し、保健体育学校教育の充実に貢献した。 平成29年度からは、校長として、確固たる教育信念を持ち、児童生徒の育成と教職員の資質向上を図り活気ある学校づくりを進め、地域住民からも厚い信頼を集めた。 糸生小学校では、「あつまる授業・つながる授業」を推進し、小規模校における課題克服に成果を上げた。また、NIEにも取り組み、平成30年には日本新聞協会から優秀学校賞を受けた。宮崎中学校では、令和2年度に、県中学校体育連盟副会長および鯖丹地区中学校体育連盟会長の要職を務めた。新型コロナウイルス感染予防対策等の深刻な課題のある中、長年の経験を生かした的確な判断と柔軟な対応で両組織をまとめ、本県中学生の体育・スポーツ活動の発展に積極的に尽力した。 令和3年度は、丹生郡校長会長として、郡内の小中学校の教育振興にリーダーシップを発揮し、丹生郡の教育の充実・発展に寄与した。
	こばやし まゆみ 小林 真由美 (女) (61歳)	福井市教育委員会学校教育課長(H29.4～H31.3) 福井市至民中学校長(H31.4～R4.3)	福井市	永年にわたり、小中学校教育および教育行政において職務に精励した。「生徒とともに生きる」ことを信条として、特に数学教育における指導方法の研究に取り組み、福井地区中学校教育研究会数学会においては委員長として教学的活動を取り入れた授業づくりに貢献した。 教育行政の分野においては、福井市教育委員会指導主事、学校教育課長として授業研究や働き方改革、学校規模適正化など福井市全体の教育の向上に尽力した。また、福井大学教職大学院にて准教授として勤務し、教員養成や教員研修、免許更新講習にも尽力した。 校長にあつては、「みんなで創る学校」を目指して、地域や保護者そして生徒自身とともに「チーム至民」を創り、大きな成果を残した。令和3年には、文部科学省の諮問機関である中央教育審議会の正委員となり、学校現場の実態を審議会の場に伝え続けた。さらに福井県中学校教育研究会会長となり、福井県研究集会の実施や新学習指導要領の評価研究などに大きく貢献した。
	こばやし やすひろ 小林 泰浩 (男) (61歳)	勝山市立北郷小学校長(H27.4～H29.3) 勝山市立成器南小学校長(H29.4～R2.3) 勝山市立勝山北部中学校長(R2.4～R4.3)	勝山市	永年にわたり、理科教育を中心とした教育実践に励み、教師の授業力向上及び教育環境整備に貢献した。特にデジタル社会に即した情報機器の整備と教職員の情報活用能力向上に力を注いだ。また、教職員の業務改善にも積極的に向き合い、教育課程、学校行事、教員の業務内容を見直し、市教職員の勤務軽減に尽力した。 勝山市教育委員会指導主事として勤務した3年間は、学校訪問等を通して、ICTを活用した教科指導や生徒指導に重点をおき、教職員の授業力と学校力の向上に努めた。また、市内の教職員間ネットワークを構築するとともに、全普通教室にデジタルテレビと書画カメラを配置した。 平成27年からは、校長として教職員を指導しながら、デジタル社会における学校の在り方を研究し、時代に合った学校づくりを提案し学校改革を推進した。特に、働き方改革の先頭として、校長マニュアル作成や新型コロナウイルス感染症蔓延下の学校運営について全校をまとめることに尽力した。令和3年度は、勝山市中学校会長として、市内校長会のリーダー的存在として、働き方改革の中心となり教職員の業務精選に寄与した。
	さいとう たかみ 齋藤 孝実 (男) (61歳)	大野市和泉小学校長(H30.4～R2.3) (兼)大野市和泉中学校長(H30.4～R2.3) 大野市陽明中学校長(R2.4～R4.3)	大野市	永年にわたり、中学校において社会科教育を中心に熱心な教育実践を続けた。特に社会事象と学習を結び付けて考察する過程を大切にし、指導方法の工夫改善に取り組み、学校教育の充実・発展に寄与した。また、市行政職員として社会教育や学校教育の分野に携わり幅広い見地から教育行政の推進に寄与した。 平成30年度から校長として、一人ひとりを大切に生徒指導を中心に据えた学校運営を実践した。令和3年度は、大野市校長会長、県中学校長会副会長として大野市、県下の教育の充実・発展に努めた。
	さいとう なるゆき 齋藤 為之 (男) (61歳)	南越前町立河野小学校長(H29.4～H31.3) 南越前町立南条中学校長(H31.4～R4.3)	南越前町	永年にわたり、保健体育科を中心として、授業づくりや児童生徒の体力向上と心身の健康と発達等に関する授業研究に精励した。これらの実践研究は、大修館書店「体育科教育」や日本体育社「学校体育」等の書籍に数多く掲載された。 平成8年度から3年間、生涯学習課社会教育主事として、今庄町教育委員会で社会教育の振興発展に尽力した。平成19年度から4年間、南越地方教育委員会連絡協議会指導主事を務め、管内の小中学校教育並びに幼稚園教育の充実発展に寄与した。平成23年から2年間、義務教育課主任として、主に県内教職員の人事に関わる重責を果たした。 平成29年度から5年間、小中学校の校長として誠実で温かみのある指導力と卓越したリーダーシップを発揮し学校経営に精励した。毎月スクールコンプライアンス研修会を開催し、教職員の資質能力と指導力の向上に尽力した。令和3年度には、南条郡校長会長として南条郡の教育の充実発展に寄与するとともに、町内3中学校統合に向けた準備作業にリーダーシップを発揮し、令和4年度新中学校の開校に尽力した。
	さわ かずひろ 澤 和広 (男) (61歳)	鯖江市教育委員会教育審議官(H28.4～H30.3) 鯖江市東陽中学校長(H30.4～R2.3) 鯖江市中央中学校長(R2.4～現在)	鯖江市	永年にわたり、確固たる教育信念を持ち誠実な教育実践を続けた。特に、中学校において数学科教育を中心に熱心な指導を実践し、学校教育の充実・発展に大きな功績を残した。 教育行政の分野においても、市教育審議官として市の教育行政の振興に尽力した。 平成30年度からは、校長として教職員を指導しながら、生徒たちの良さを伸ばす学校経営を行って大きな成果を上げ、地域住民からも高い評価を得た。 令和3年度は、市校長会長として、市下の教育向上のために尽力した。

令和4年度教育功労者表彰被表彰者の概要

区分	氏名・性別・年齢	主な経歴	住 所	功 績 の 概 要
学校教育（中学校）	たかや あつし 高谷 敦志 (男) (61歳)	敦賀市立栗野南小学校長(H30.4～R2.3) 敦賀市立栗野中学校長(R2.4～R4.3)	敦賀市	永年にわたり、確固たる教育信念を持ち誠実な教育実践を続け、学校教育の充実発展に大きな功績を残した。特に、数学科教育において、個々の児童生徒の実態に即した教科指導を常とし、保護者や地域住民からも高い評価を得た。平成25年度には授業名人の任命を受け、先進的な教材開発や指導方法の改善に取り組み、数学科教育の向上に貢献した。 平成31年度からは、校長として教職員を指導しつつ、児童生徒のよさを伸ばす学校経営に真摯に取り組んだ。特に、教職員個々の当事者意識をベースとして組織内の同僚性を向上し、地域素材を生かした小学校での特別活動や、コロナ禍における大規模中学校でのカウンセリング活動の充実、組織的に取り組む道徳教育や全校ピアサポート活動の具現化などにも取り組み成果を上げた。また、令和3年度は敦賀市小中学校長会長として、敦賀市の教育の発展と改革に大きく寄与した。
	はまの たかし 濱野 隆 (男) (60歳)	敦賀市立栗野小学校長(H30.4～R2.3) 敦賀市立松陵中学校長(R2.4～R4.3)	敦賀市	永年にわたり、理科教育の研究推進に努力し、知的好奇心を高め、理科好きな子供達を育てる授業作りを中心に実践研究に取り組んできた。平成13年より15年間敦賀市理科教科指導員を務め、平成24年度には授業名人、平成27年度より5年間敦賀市小・中教研理科部会長として理科教育の振興に貢献した。 また、令和3年度には二州地区中体連会長・福井県中体連副会長に就任し、変わりゆく体育部活動の在り方について協議を重ね、推進してきた。
	ももた ただひろ 百田 忠浩 (男) (61歳)	小浜市立加斗小学校長(H28.4～H31.3) 若狭町立三方中学校長(H31.4～R4.3)	若狭町	永年にわたり、確固たる教育信念を持ち誠実な教育実践を続け、学校教育の充実・発展に大きな功績を残した。特に、英語教育において指導方法の改善に取り組み、英語科教育の向上に貢献した。 教育行政の分野でも、県教育庁指導主事等として、県の教育行政の振興に尽力した。 平成28年度からは、校長として教職員の研究実践を推進し、ふるさと教育、キャリア教育、学力向上を柱に地域に結びついた教育課程の展開に努めた。 令和3年度は、県中学校長会副会長を務め、県内の中学校教育の充実発展に尽力するとともに、教育研究の推進と向上に取組み、本県中学校教育の推進役として優れた手腕を発揮した。
	やまな さとし 山名 聡 (男) (61歳)	小浜市立今富小学校長(H28.4～R2.3) 小浜市立小浜中学校長(R2.4～R4.3)	神奈川県 相模原市	永年にわたり、中学校において保健体育科教育を中心に熱心な指導を実践し、特に、主体的に学習できる学習過程の工夫と研究に取り組み、保健体育科教育の充実・発展に貢献した。 また、部活動の指導においても、優れた指導力を発揮し、競技力の向上と生徒の健全育成に努力した。 平成19年度からは、県教育庁保健体育課指導主事として、県の学校教育行政の振興に尽力した。 平成28年度からは、校長として、誠実で温かみのある指導力で、児童・生徒の育成と教職員の資質の向上を目指した学校運営を行った。 令和3年度は、若狭地区中学校長会長として、若狭地区の教育の充実・発展のために寄与した。
	やまもと こういち 山本 晃市 (男) (61歳)	越前市武生西小学校長(H29.4～H30.3) 福井県教育庁課長(小中学力向上)(H30.4～H31.3) (兼)福井県教育総合研究所副所長(小中学力向上)(H30.4～H31.3) 福井県教育庁義務教育課長(H31.4～R2.3) 越前市武生第二中学校長(R2.4～R4.3)	南越前町	永年にわたって、確固たる教育理念に基づき、卓越した指導力と情熱を持って学校教育、教育行政の充実・発展に努めた。数学教育では、授業の評価に参考になる問題を作成したり、授業改善策を考案したりするなど、越前市だけでなく、福井県全体の数学教育の推進役として尽力した。 平成29年度からは、越前市武生西小学校長として、児童の健全育成を目指すとともに、外国籍児童が2割強在籍している実情を踏まえ、多文化共生に力を注いだ。 平成30年度からは、福井県教育庁義務教育課長として、県内幼・小・中における教育活動の企画や調整、指導等ならびに教育行政全般の活性化に貢献した。 令和3年度は、越前市校長会会長、越前市中学校長会会長および南越ブロック中学校長会会長と県中学校長会理事を務め、小中学校の連絡調整に努めるとともに、円滑な学校運営に寄与した。
学校教育（県立学校）	かねさき はじめ 金崎 肇 (男) (60歳)	福井県立大野高等学校長(H31.4～R2.3) 福井県立羽水高等学校長(R2.4～R4.3)	福井市	永年にわたり、数学教育に情熱を注ぎ、本県数学教育の発展に尽力した。兵庫教育大学へカウンセラー研修を受講するなど、数学教育だけではなく進路指導に熱心に取り組んでいた。 県教育庁高校教育課在職中は、数学科指導主事、教員海外研修などを担当するとともに、連携型中高一貫教育の導入・発展に尽力した。 武生高等学校教頭としては、SSH第3期申請、探究進学科の設置準備などに尽力した。また、同校授業改善グループの活動を積極的に取り組み、その結果「読売教育賞」を受賞するなどした。 大野高等学校校長としては、地域と連携した探究活動の推進と進路実現に、また定時制では多様な生徒の就労支援に尽力した。 羽水高等学校長としては、新型コロナウイルス感染症拡大による休校からのスタートであったが、いち早くYouTubeによる授業配信など学習継続に学校をあげて取り組んだ。また、福井県高等学校文化連盟会長としてコロナ禍における文化部活動の支援にも尽力した。学校魅力化に積極的に取り組み、令和4年4月に「探究特進科」を開設し、普通科とともに進学型単位制への移行、探究活動の推進などに尽力した。

令和4年度教育功労者表彰被表彰者の概要

区分	氏名・性別・年齢	主な経歴	住 所	功 績 の 概 要
学校教育（県立学校）	きもと たけし 木本 健 (男) (61歳)	福井県立教賀工業高等学校長(H30.4～R2.3) 福井県立美方高等学校長(R2.4～R4.3)	小浜市	永年にわたり、保健体育教育に情熱を注ぎ、本県保健体育教育の発展に尽力した。 教育研究所在職時には、評価規準に準拠した評価の在り方等に関する研究に努め、体育指導主事として保健体育科教育の充実、発展に寄与した。県教育庁スポーツ課在職時には、福井国体のための競技力向上7年計画を作成し、天皇杯獲得に尽力した。 嶺南西特別支援学校教頭時には、インクルーシブ教育や交流学習の推進と、小学部から高等部までの連携教育の推進に尽力した。若狭高校定時制教頭時には、夜間定時制から昼間定時制への移行に向けた環境整備や課題解決に尽力し、新しい昼間定時制の基礎を築いた。 教賀工業高等学校長時には、学校の魅力発信、生徒指導の充実に取り組むなど、志願者の獲得に向けて尽力した。美方高等学校校長時には、高教研家庭部会長として家庭科教育の推進に努めるとともに、自校の家庭科の課題研究の充実にも努めた。高体連ボート専門部長として令和3年度福井インターハイの成功に向けて尽力した。また、探求学習の推進や新しい制服の導入など新しい美方高校づくりに尽力した。
	たかはし ひでゆき 高橋 秀幸 (男) (60歳)	福井県立福井農林高等学校長(H31.4～R4.3)	坂井市	永年にわたり、農業教育実践を展開し、本県の農業教育の発展に寄与した。教諭としては、三重大に半年間内地留学するなどし、生物工学教育の普及・発展に寄与した。 県教育委員会に勤務した際は、「農業」および「水産」の担当指導主事として勤務し、インターンシップ制度の事業化など職業教育の充実と手腕を発揮するとともに、農業及び水産教育の充実・発展に貢献した。 教頭としては、坂井地区の職業高校再編に関わり、新総合産業高校の設立準備から開校、「農業」「工業」「商業」「家庭」の4学科が連携した新設坂井高校の特色化・魅力化に尽力した。 福井農林高等学校長時には、新しい令和の時代の魅力ある農業高校のあるべき姿を求め、学校のビジョンとその達成への道筋を示した。特色ある農業教育の実現のため、スクールポリシーの策定や新教育課程の編成、学科名変更（食品流通科）とそれに伴う「食」に関する学習内容の充実、農業のスマート化に対応した施設の導入、地域貢献を目的とした探究的な学習の推進などに指導力を発揮した。
	まえだ ひでたか 前田 英隆 (男) (60歳)	福井県立奥越特別支援学校長(H29.4～H31.3) 福井県立福井東特別支援学校長(H31.4～R4.3)	福井市	永年にわたり、豊かな知識と卓越した指導力をもって、特別支援教育・教育行政等、各分野で輝かしい実績を残し、本県の特別支援教育の振興と発展に寄与した。 特別支援教育センターや県教育委員会などの教育行政に関わり、全国的に先駆けて個別の指導計画の活用に貢献し、県内の特別支援学校・特別支援学級に幅広くその志を広めた功績は大きい。また、奥越地区に新しく設置する特別支援学校の準備委員として、開校に向けて尽力した。 奥越特別支援学校校長として、特色ある学校づくりに向け、県下で初めて校内にカフェを設置するなど、地域との交流を大切にしたり取り組んだ。 福井東特別支援学校校長としては、病弱等で登校できない児童生徒に対して、遠隔授業を取り入れるなど、新たな学びの機会を取り入れた。また、大学拠点連携校として、毎年教職大学院生を有し、教員専門性向上のための教育開発校として新しい学習指導要領に基づく授業づくりの推進にも貢献してきた実績は大きなものがある。
	よこやま みきお 横山 幹夫 (男) (61歳)	福井県立丹南高等学校長(H31.4～R4.3)	福井市	永年にわたり、保健体育教育と部活動、競技力向上に情熱を注ぎ、本県保健体育教育の発展に尽力した。部活動については、アーチェリーの指導に長年携わり、全国選抜大会での優勝はじめ国体入賞など多くの有力選手を輩出し、優秀指導者表彰等を受賞した。 県行政機関に通算16年間在職し、競技団体、学校、市町教育委員会、県体育協会との連携や調整にあたるなどし、本県の競技力向上に長年尽力した。 スポーツ保健課の競技力向上対策参事として、福井国体に向けた選手強化に携わり、念願の天皇杯獲得に貢献した実績は大きなものがある。 丹南高等学校長時には、閉校準備に向け、閉校行事実行準備委員会を立ち上げ、閉校行事の企画、運営を指揮し、42年間の歴史を閉じる丹南高校閉校式を無事に終了させた。また、丹南キャンパスとして活用が始まる鯖江高校と協力体制を整え、丹南・鯖江両校が専門性の高い実習授業を行える専門教棟の活用にも尽力した。
	よしだ しげる 吉田 繁 (男) (61歳)	福井県立坂井高等学校長(H30.4～H31.3) 福井県立高志高等学校長(H31.4～R4.3) (兼)福井県立高志中学校長(H31.4～R4.3)	福井市	永年にわたり、国語科の教育実践を展開し、本県の国語教育の発展に寄与した。高志高等学校では、SSH（スーパーサイエンスハイスクール）第1期指定採択に際して、学校内でリーダーとして尽力した。また、県の指導主事等として県の教育委員会に勤務するなど、県立学校全体の国語教育力の向上に貢献した。 教頭として高志高校に勤務した際には、SGH（スーパーグローバルハイスクール）指定に向けたプロジェクトをマネジメントし、グローバル教育や、課題解決型の教育を推進する機運のきっかけを作った。 坂井高等学校長時には、総合産業高校として、農業、工業、商業、家庭の各学科の特色づくり、坂井市や地元企業等と連携したキャリア教育の推進等に尽力した。また高志高等学校長時には、令和3年度に県教委が「中高一貫教育検証委員会」を設け、委員会での審議内容を踏まえながら、混合クラス編成、特色選抜の新規実施等のさらなる学校改革に向けて検討を進めた。また、令和4年度の新学習指導要領スタートに併せて、新学科「探究創造科（人文創造科・理数創造科）」の開設を実現するなど、特色ある学校運営に尽力した。
	よねざわ れいこ 米澤 礼子 (女) (60歳)	福井県立福井南特別支援学校長(H30.4～R4.3)	福井市	永年にわたり、豊かな知識と卓越した指導力をもって、特別支援教育に携わり、各分野で輝かしい実績を残し、本県の特別支援教育の振興と発展に寄与した。 教諭としては、国立教員研修センターにおける中央研修に参加するなど、福井県の特別支援教育の中心として活躍した。 教頭としては、開校2年目の奥越特別支援学校に勤務し、地域とのつながりを大切にしたり学校作りを進めた。また、インクルーシブ教育の一環として高等学校との交流及び共同学習の実現に寄与した。 福井南特別支援学校長としては、授業づくりを中心とした学校作りを進めるために、新学習指導要領における指導内容の見直しを含めた授業作りを学校全体で取り組んだ。また、地域交流推進委員会を立ち上げ、高等部作業学習を中心に地域とつながり、生徒の自己肯定感を高める授業づくりを推進した。キャリア教育の学校表彰において文部科学大臣表彰を受賞するなど、福井県内の特別支援学校の教育の発展に大きく貢献した。

令和4年度教育功労者表彰被表彰者の概要

区分	氏名・性別・年齢	主な経歴	住 所	功 績 の 概 要
社会教育	うえじま よしかず 上嶋 善一 (男) (71歳)	武生市社会教育委員(H17.6～H17.9) 越前市社会教育委員(H17.10～現在) 越前市社会教育委員の会副委員長(H22.4～R2.3) 越前市社会教育委員の会委員長(R2.4～現在)	越前市	平成17年に旧武生市社会教育委員、令和2年には委員長に就任し、多年にわたり社会教育の推進・発展に尽力している。また、長年にわたり越前市スポーツ協会の役員を務め、地域の社会体育の振興に積極的に取り組むとともに、地域農業の活性化にも尽力するなど、地域の発展に大きく貢献している。
	にしむら はつえ 西村 初江 (女) (78歳)	福井県生活学校連絡協議会理事(H16.4～H22.3) 福井県生活学校連絡協議会副会長(H22.4～現在)	敦賀市	平成16年に福井県生活学校連絡協議会の理事、平成22年に副会長に就任し、多年にわたり生活学校運動の発展に尽力し、社会教育の振興に大きな功績を上げた。特に食育や環境問題、地域づくりに対し、女性や主婦の立場から地域に密着した活動に熱心に取り組み、生活の改善・向上に寄与している。
	まつむら みつる 松村 充 (男) (58歳)	朝日町社会教育委員(H15.4～H17.3) 越前町社会教育委員(H19.4～現在)	越前町	平成15年から2年間は旧朝日町社会教育委員に就任、平成19年からは越前町社会教育委員に就任し、社会教育の推進・発展に尽力している。またPTAや地域の活動にも熱心に取り組んだり、長年にわたり越前町国際交流協会役員を務めるなど、地域のリーダーとして同町の社会教育活動に大きく貢献している。
	やまざき ゆきお 山崎 幸夫 (男) (75歳)	日本ボーイスカウト福井連盟理事(H24.4～現在)	越前市	平成24年に日本ボーイスカウト福井連盟の理事に就任以来、青少年への指導や指導者の資質向上・スキルアップを推進するなど青少年の健全育成に寄与した。また、平成30年には、ボーイスカウト福井連盟武生第5団の団委員長に就任し、地域スカウト運動の発展にも尽力している。